

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
愛知県知事 殿	
提出者 愛知県名古屋市東区葵 3丁目 25番地 32号 住所 岐建株式会社名古屋支店 氏名 常務取締役支店長 松居 広 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	岐建(株)名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市東区葵3丁目 25番地 32号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	06 : 総合建設業
2 事業の規模	264,630万円
3 従業員数	40名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	公共・民間建築物などの新築、改修、解体及び		
	公共土木工事の施工に伴い発生		
	・がれき類：主に破砕処理にて再資源化		
	・ガラスくず：主に破砕処理にて再資源化、一部埋立処理		
	・廃プラ：主に破砕処理にて再資源化、一部埋立処理		
	・金属くず：主に破砕処理にて再資源化		
	・建設汚泥：主に増粒固化処理等にて再資源化		
	・紙くず：主に破砕処理にて再資源化		
	・木くず：主に破砕処理にて再資源化		
	・繊維くず：主に破砕処理にて再資源化		
・石膏ボード：主に破砕処理にて再資源化、一部埋立処理	広域認定制度等を利用し再資源化（新材）		
・混合廃棄物：主に破砕処理にて再資源化、一部埋立処理			

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社でアスファルト工場を持つので、アスコンがらが排出された場合は、自社で処理するようにする。 ・優良認定業者を積極的に委託する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t

	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社でアスファルト工場を持つので、アスコンがらが排出された場合は、自社で処理するようにする。 ・優良認定業者を積極的に委託する ・資材を適当な数量発注するよう心掛ける ・産廃が出ない工法も考える
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラ、金属くず、木くず、がれき類を分別して保管している
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別を継続させる

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスコンがら）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	27 t	t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社処理工場がある場所では、積極的に利用する。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスコンがら）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	30 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社処理工場がある場所では、積極的に利用する 		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った	t	t

	産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処 理委託量	t	t

		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

